

第18回小川北義務教育学校開校準備委員会 議事結果

期間：令和3年9月15日（水）～9月24日（金）

回答委員数：34名

議事1-① 校章について

校章デザイン案 投票結果

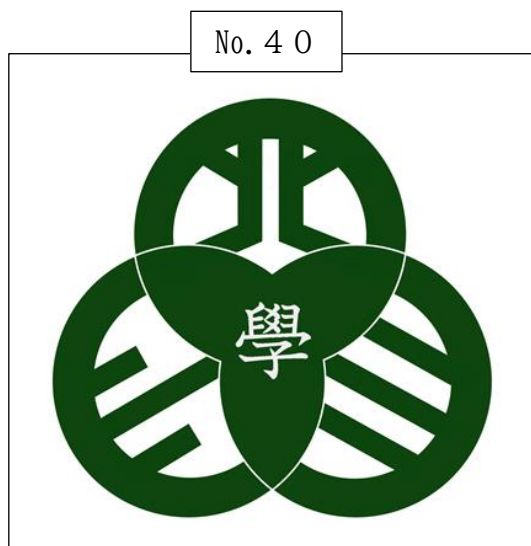
No.	得票数	主な意見（選んだ理由）
1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの校章のよさを表現している。 ・シンプルなので，児童生徒が覚えやすい。
8	6	<ul style="list-style-type: none"> ・北学区4校の校章を基本にしている。 ・各学校の校章の一部がありよい。
14	5	<ul style="list-style-type: none"> ・流行にとらわれず，いつの時代にも通用し，小川北であることが分かる。
19	5	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルで分かりやすい。細かすぎず，バランスが取れている。 ・中央にある丸の上半分は小川の「小」をもじったデザインにするとよりよい。
20	6	<ul style="list-style-type: none"> ・北という文字が強調でき，4つの学校の校章が組み合わさり，新しい学校の出発にふさわしい。 ・全部の校章が取り入れられていて，とてもかっこいい。
28	5	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルでありながらも小美玉市らしくよい。
37	6	<ul style="list-style-type: none"> ・細かすぎず，バランスが取れている。 ・低学年の子たちも受け入れやすい。
40	19	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインのバランスがよい。 ・色を変える。 ・未来へ向かっていく意志が込められている。 ・シンプルで分かりやすい。 ・3つの丸が和を感じさせデザインとしてクオリティが高い。
43	5	<ul style="list-style-type: none"> ・将来性のある，未来へ向かう，明るいイメージが表現されている。 ・見た目が派手なので，見栄えがする。
49	4	<ul style="list-style-type: none"> ・色合いがよく，斬新である。

<事務局より>

回答（投票）委員数が34名であるため、得票数が18票以上であれば過半数となる。

投票の結果、No. 40が19票を得ており、過半数となることから、この案を採用することに決定とする。

今後、補正をデザイン事業者に依頼し、最終的な校章デザインの完成とする。



議事1-② 校歌について

意見あり：8名 意見なし：26名

意見

- ・小川北学区を連想させる自然や植物等の言葉がないのは残念だが、作詞者の思いも理解できたので、修正案でよいと思う。
- ・修正案の方が、今に合っている。
- ・素晴らしい歌詞になっていると思う。
- ・クロダ氏の強い思いが感じられた。メロディが楽しみである。
- ・部会からの修正案に従わないというのは、いかがなものか。
- ・校歌の歌詞については、部会での意見が尊重されるものであってほしい。アーティストの楽曲をつくるのではなく、校歌をつくるために知恵を出し合っているのだと考える。
- ・校歌の最後は「帰る場所」ではなく、前進するような、希望に向かって進むような言葉の方がよいと思う。ただし、作詞者の考えもあるので、どうしてもこのままというのであれば、それでもよい。
- ・最後の「帰る場所」は入れないで、「小川北」で終わらせた方がよい。

<事務局より>

「帰る場所」という言葉については、今回の準備委員会だけでなく、総務・通学部会でも意見があった箇所である。部会の意見を反映したクロダ氏の修正案では、「帰る場所」という言葉は修正せずそのまま残したいということだったが、準備委員会で再度意見があったことを伝え、改めて修正依頼をする。また、作曲者（田川めぐみ氏）に曲の制作を進めていただき、次回の部会・準備委員会で、修正歌詞と曲の確認を合わせて行う。

議事1-③ 通学体制について

賛成：34名 反対：0名

⇒準備委員会の承認を得たものとする。

意見

- ・下吉影小学区の方がそうしたいのであれば、よいのではないか。
- ・地元の要望にそうのは当然、そして許容範囲である。
- ・下吉影官舎内のどのあたりでバスがとまるのか。

<事務局より>

下吉影官舎敷地内におけるバスの停車位置については、今後、運行事業者及び百里基地と調整の上、決定する。

議事2 PTA部会報告

賛成：34名 反対：0名

⇒準備委員会の承認を得たものとする。

意見

- ・通常、スポーツ振興センターの災害共済給付制度でほとんどの場合、まかなえる。
- ・家庭教育学級：1年生～6年生まででがよい（毎年）
- ・立哨活動：PTA活動としてがよい（子どもたちの安全性を）

<事務局より>

家庭教育学級・立哨活動については、次回のPTA部会で検討予定である。